

授業科目

言語聴覚障害診断学演習II

担当教員名 山岸 達弥、言語聴覚学科教員全員、今村 徹、吉岡 豊、今井 信行、渡辺 時生 他	対象学年	4	対象学科	言語
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎

授業の概要

言語聴覚障害診断学で学んだ各種の評価・診断の理論と方法を演習形式により修得する。また、病院、施設等を訪れ、臨床現場での診断技術を学ぶ。各言語聴覚障害の専門分野を含む評価・診断の理論と方法について演習を行なう。

授業の目的

言語聴覚障害診断学で学んだ各種の評価・診断の理論と方法を演習形式により実施し、臨床場面で実際に実施できるようになることを目的とする。

学習目標

1. 専門基礎科目と専門科目の理解を深める。
2. 臨床実習を補うための症例検討会参加、症例のV T R検討、対象者との臨床的かかわりの機会を体験する。

授業計画

授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
検査演習	演習	言語聴覚学科教員全員
臨床見学	演習	吉岡 豊
臨床見学	演習	渡辺 時生
物忘れ外来	演習	今村 徹
摂食嚥下障害カンファレンス	演習	今井 信行
口腔ケア見学	演習	今井 信行
神経心理勉強会	演習	今村 徹
指定された学会への参加	演習	言語聴覚学科教員全員

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書						
その他の資料						

評価方法

演習レポートをもって評価する。

履修上の留意点

オフィスアワー・連絡先

オフィスアワー：火曜日 12:00～13:00

連絡先：yamagisi@nuhw.ac.jp